

# 生物科学学会連合

The Union of Japanese Societies for Biological Science



2018 - 2019

# 生物科学学会連合について

生物科学学会連合は、生物科学に関連する学術研究 団体の連合体で、2018年6月現在で31団体が加盟し ています。加盟などに関するお問い合わせは事務局 までご連絡ください。

# 生物科学学会連合事務局

₹113-0033

東京都文京区本郷2-26-11 浜田ビル5階

中西印刷株式会社 東京営業部内

TEL: 03-3816-0738 FAX: 03-3816-0766

E-mail: seikaren@nacos.com

URL: http://www.nacos.com/seikaren/



# ご挨拶



生物科学学会連合代表 中野 明彦

生物科学学会連合(生科連)は、生物科学、生命科学関係の学 会がゆるやかな連携で協力体制を築き、関連分野の諸問題について討 議し解決を図るとともに、将来を見据えた提言を行って、生物科学の発 展に大きく寄与することを目的とした組織です。現在、31団体が加盟し ています。

21世紀は生物科学の時代と言われて久しくなりました。幅広い分野が ゆえに数多くの学会が存在し、それぞれがさまざまな活動を行っていま す。一方で、代表的な学会をもたないために、個別の学会の声が国の 施策や社会になかなか届かないもどかしさもありました。生科連は、単 独の学会では解決困難な課題に対し、情報を共有して一緒に知恵を絞 り、解決をめざします。若手キャリアパス、学会大会の合同の動きなど、 山積する重要な課題に、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

生科連が生物科学分野の一層の発展に寄与するために、参加学会 のみならず関係各位のご協力をよろしくお願い申し上げます。



# 特定非営利活動法人 個体群生態学会



●会員数:270名 ●**〒603-8148** 

●1961年設立

京都市北区小山西花池町1-8 (株)十倉事務所内 個体群牛熊学会事務局

●Tel: 075-451-4844

●Fax: 075-441-0436

会長: 松田 裕之 ●E-mail: bwa36248@nifty.ne.jp (2018年6月1日現在) OURL: http://www.population-ecology.jp/

生物の個体群に関係した生態学や進化学の発展を はかるため、大会を年1回開催。日本の生態学分野 の英文誌としてもっとも歴史が長く、国際的評価も高 いPopulation Ecologyを年4回発行。若手 研究者 の顕彰などにも取り組んでいる。



# -般財団法人 染色体学会



●1949年設立

- ●会員数:208名(2018年3月31日現在)
- ■〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1 東京大学医科学研究所 2 号館 3 階两側
- 病態医療科学分野内 ●Tel: 03-5449-5299
- 理事長: 福井 希— ●Fax: 03-5449-5418
- (2018年6月1日現在) ●E-mail: hitochromo@cbms.k.u-tokyo.ac.jp
  - •URL: http://www.org.kobe-u.ac.jp

染色体に関する学理およびその応用研究の進展と 知識の普及を図ることを目的に、年一回学術集会、 市民公開講座を全国各地で開催し、学会英文誌 Chromosome Scienceを年4巻発行している。優れ た業績を挙げた研究者に対する学会賞や論文賞、 若手を対象とした年会におけるベストプレゼン テーション賞などの顕彰事業も行っている。また、 アジアの染色体研究拠点として国際会議ACCを 運営し、積極的に国際化を推進している。



# 日本味と匂学会



●1991年設立

- ●会員数:715名(2018年2月28日現在) ● 〒920-0293
  - 石川県河北郡内灘町大学1-1 金沢医科大学医学部耳鼻咽喉科学内
- ●Tel: 076-286-2211
- ●Fax: 076-286-5566
- 会長: 三輪 高喜 ●E-mail: jasts@kanazawa-med.ac.jp
- (2018年6月1日現在) •URL: http://jasts.com

本学会は、前身である「日本味と匂のシンポジウ ム」が1967年に発足して以来、味と匂いに関す る科学の広範な研究の進展を図るため、学術大会 の年1回開催、日本味と匂学会誌等の年3回刊行、 メーリングリストの運用等により会員の交流を促 進し、顕彰事業などを通して若手研究者の育成に も積極的に取り組んでいる。また、アジア地区連 携シンポジウムを開催するなど、国際化の促進を はかっている。



# 公益財団法人遺伝学普及会 日本遺伝学会

●1920年設立



(2018年6月1日現在)

クスまで幅広い分野をカバー。

- ●会員数:721名(2018年5月15日現在) ■ 〒411-8540 静岡県三島市谷田1111
- 国立遺伝学研究所内
- ●Tel/Fax: 055-981-6736 ●E-mail: japgenet@nig.ac.jp
- 会長: 小林 武彦 ●URL: https://gsj3.org

年1回の大会、市民公開講座、年数回の談話会を開 催。国際誌「Genes & Genetic Systems(年6回)」、 ニュースレター「GSJコミュニケーションズ(年3 回)」発行。学会賞(木原賞)、奨励賞、ベストペー パー賞、GGS prizeを設け、優れた研究を表彰。昨年 度より退職した研究者の活躍の場「シニア科学ア カデミー」を設立。分子から集団、エピジェネティ

# 一般社団法人 日本宇宙生物科学会



- ●1987年設立
- ●会員数:250名(2018年4月1日現在)
- ●〒162-0808 東京都新宿区天神町78
- ●Tel: 03-3235-2062
- ●Fax: 03-3268-3023
- E-mail: jsbss-office@spacebio.sakura.ne.jp
- 理事長: 保尊 隆享 URL: http://www.jsbss.jp/

本会は、宇宙環境を利用して宇宙的な視野で生命 現象を理解し、生物科学を宇宙に普遍的な科学へ と発展させることを目的として設立されました。 学術集会、公開講演会の開催、学会誌Biological Sciences in Spaceの発行、優れた研究の顕彰な どを通して、宇宙生物科学研究の振興と発展、研 究者の交流や協力の促進、研究成果の発信と普及 を図っています。また、国内外の関係団体と連携 して、人類の長期宇宙居住をめざした活動も進め ています。



# -般社団法人 日本解剖学会



●1887年設立

- ●会員数:2,340名(2018年6月1日現在) ■ ± 170-0003
- 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル -般財団法人 口腔保健協会内
- ■Tel: 03-3947-8891 ●Fax: 03-3947-8341
- 理事長: 岡部 繁男 ●E-mail: gakkai24@kokuhoken.or.jp (2018年6月1日現在) OURL: http://www.anatomy.or.jp/

本会は明治26年(1893年)に創設された長い歴史を 持つ学会であり、肉眼解剖学から分子構造の解明ま で、様々なレベルの構造のかたちを観察・解明する ことを通じて、ヒトをはじめとする生物の生理機能 を理解することを目指しています。毎年3月の総 会・全国学術集会のほか、支部学術集会の開催、英 文学術誌Anatomical Science Internationalの刊行、 解剖組織技術者の認定などを行っています。



# -般社団法人 日本細胞生物学会



(2017年6月7日現在)

- ●1950年設立
- ●会員数: 1,244名 (2018年6月現在) ■〒602-8048
- 京都市上京区下立売通小川東入 ●Tel: 075-415-3661
- ●Fax: 075-415-3662 ●E-mai: jscb@nacos.com
- 会長: 大野 博司 ●URL: http://www.jscb.gr.jp/

本会は細胞生物学の進歩発展を図ることを目的として、学術集会 の開催、学会誌Cell Structure and Functionの刊行、会報の発行、 国際細胞生物学連合やアジア太平洋細胞生物学連合の活動への 協力などを行っています。細胞生物学は、電子顕微鏡技術の発展、 分子イメージング技術の発達、各種生化学的技術の開発、分子生 物学と細胞工学・遺伝子工学の導入によって急速に進歩し、動物・ 植物を問わず、細胞の生命現象の解明は急速に進み、その成果は 確実に医学・農学・薬学等へ応用されてきました。今や細胞生物学 は生命科学の中心であり、本会はその進歩発展、次世代の若手研 究者の育成に貢献していきたいと考えています。



# 日本時間生物学会



●1995年設立

- ●会員数:661名(2018年5月1日現在)
- ∓ 464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学トランスフォーマティブ 生命分子研究所内 吉村崇 (事務局長)

- ●Tel/Fax: 052-789-4069
- 理事長: 深田 吉孝 ●E-mail: chronobiology.jp@gmail.com (2018年6月1日現在) OURL: http://chronobiology.jp/

基礎科学から応用科学に至る時間生物学の広い領 域から研究者が結集している学会である。学術集 会を年1回開催するほか、機関誌「時間生物学」を 年2回発刊している。また、米国生物リズム研究会 や欧州生物リズム学会と協力し、国際学術集会や 若手向けの教育コース 「時間生物学サマースクー ル」を定期的に開催している。さらにアジア時間生 物学フォーラムやアジア睡眠学会と国際学術会議 を共同開催している。



# 公益社団法人 日本実験動物学会



●1951年設立

- ●会員数: 1,069名 (2018年5月現在)
- 東京都文京区本郷6-26-12 東京RSビル3F
- ●Tel: 03-3814-8276
- ●Fax: 03-3814-3990
- 理事長: 浦野 徹 ●E-mail: JDK06323@nifty.ne.jp
- (2018年6月1日現在) OURL: http://www.jalas.jp/

実験動物はライフサイエンス研究や医薬品開発等 の分野で多用され、動物実験はそれらの研究開発 に不可欠な手段として広範な分野で実施されてい ます。日本実験動物学会は、マウスから霊長類まで 多様な実験動物に関する基礎及び応用研究、動物 実験に関する技術開発等に携わる研究者、技術者 を主な会員とし、年1回の定期学術集会、学術シン ポジウムや動物実験の適正化に関するセミナー等 の開催、学会誌Experimental Animalsの刊行を 行っています。



# 公益社団法人 日本植物学会



●1887年設立

- ●会員数:約1,940名(2018年5月28日現在)
- 〒 113-0033
- 東京都文京区本郷2-27-2 エスペランサⅤ2階 Tel: 03-3814-5675
- ●Fax: 03-3814-5352
- 会長: 三村 徹郎 ●URL: http://bsj.or.jp/

植物学に関する研究の進展と知識の普及を図り、 それによって学術全般の発展に寄与することを目 的に設立された学術団体です。(1)学術集会、講演会、 講習会等の開催、(2)国際学術雑誌「Journal of Plant Research 、その他出版物の発行、(3)調査及 び研究、(4)学会賞を制定し、植物科学の進歩に貢献 した者、もしくは将来の貢献が期待される者の表 彰ならびに研究の奨励、(5)国内外の関係学術団体 との連絡及び協力を行っています。



# 日本植物形態学会



● 〒112-8681

- ●1988年設立
- ●会員数:243名(2018年5月1日現在)
- 文京区目白台2-8-1
- 日本女子大学理学部物質生物科学科内 ●Tel: 03-5981-3663
- Fax: 03-5981-3663
- 会長: 峰雪 芳宣 ●E-mail: n-nagata@fc.jwu.ac.jp (2018年6月1日現在) OURL: http://square.umin.ac.jp/ pl-morph/

日本植物形態学会は、植物の形態・構造、そしてそ の機能に関連した分野の研究者が、新しい技術や 理論、そして研究の発展方向などを積極的に議論 し、実質的な相互の交流の場を持とうという趣旨 のもと1988年1月に設立された学術研究団体です。 総会・大会を年1回開催しているほか、学会誌 PLANT MORPHOLOGYを年1回、刊行していま す。また、植物形態学分野で優れた業績を挙げた研 究者/研究の顕彰も行っています。



# -般社団法人 日本植物生理学会



●1959年設立

- ●会員数: 2,057名(2018年5月15日現在)
- 〒602-8048
- 京都市上京区下立売小川東入 而大路町146番地
- ●Tel: 075-415-3661
- ●FAX: 075-415-3662
- 会長: 三村 徹郎 ●URL: https://www.jspp.org/ (2018年5月15日現在)

本学会は、多様な植物と微生物を対象とした基礎 研究と応用研究に携わる研究者による学術団体で、 若手会員と外国人会員の比率が高いのが特徴です。 創立55周年にあたる2014年に、一般社団法人とな りました。学会誌Plant and Cell Physiologyは国 際的にも高い評価を得ています (2017年5-year IF =4.817)。また、学会ウェブサイトの一般向けペー ジ「みんなのひろば」は年間アクセスが230万件を 超えており、植物科学研究のアウトリーチにも大き く貢献しています。



# 一般社団法人 日本進化学会



●1999年設立

- ●会員数: 1,200名 (2018年6月現在)
- 〒 102-0072
- 東京都千代田区飯田橋3-11-15 6階 株式会社クバプロ内
- ■Tel: 03-3238-1689 ●Fax: 03-3238-1837
- 会長: 田村浩一郎 ●E-mail: shinka@kuba.jp

(2018年6月1日現在) OURL: http://sesj.kenkyuukai.jp

日本進化学会は、進化に関する広範な研究および教育 を推進し、我が国におけるこの分野の発展に寄与する ことを目的に設立されました。年1回の学術集会では、 研究発表、優秀発表の表彰、初心者向け教育プログラ ム、高校生発表会、市民向け講演会を行っています。日 本進化学会賞、研究奨励賞、教育啓発賞により研究の 奨励と一般への研究成果の発信を行っています。年3 回の日本進化学会ニュースを発行し、会員間での情報 の共有を行っています。国内外の関係団体と国際学会 などの共催を通して進化学の国際化に寄与しています。

# 日本神経化学会



●1958年設立

- ●会員数:1,300名 ●〒160-0016
- 新宿区信濃町35信濃町煉瓦館
- (一財) 国際医学情報センター内 ●Tel: 03-5361-7107
- Fax: 03-5361-7107
- 理事長: 和田 圭司 ●E-mail: jsn@imic.or.jp
- (2018年6月1日現在) OURL: http://www.neurochemistry.jp/

日本神経化学会は「神経化学」を標榜する世界の学会の中で最も長い歴史と最大級の会員数を有します。脳とこころの病気の原因や発症の仕組みを分子実体として明らかにし、さらにそこからサイエンスの新しい地平線を切り開くことが主たる使命です。年次大会では神経生物学、神経薬理学、神経生化学、精神医学、神経内科学を中心とした基礎研究者と臨床医学者が集い、熱い討論を繰り広げています。次世代の人材を輩出する場として「神経化学の若手研究者育成セミナー」の運営を行っています。社会とともに歩む学会として日々の活動紹介に努めています。



# 日本神経科学学会



●1974年設立

- ●会員数:6,130名(2018年6月1日現在) ●〒113-0033
- 東京都文京区本郷7丁目2-2 本郷ビル9F
- ●Tel: 03-3813-0272
- ●Fax: 03-3813-0296
- 会長: 伊佐 正 ●E-mail: office@jnss.org
- (2018年6月1日現在) OURL: http://www.jnss.org/

脳・神経系に関する基礎・臨床及び応用研究を推進し、その成果を社会に還元、ひいては人類の福祉や文化の向上に貢献すべく、神経科学研究者が結集した学術団体です。国際的な学術集会を毎年開催するとともに、英文学術誌Neuroscience Researchを発行して研究成果を世界に向けて発信しています。また、利用無料のオンライン辞典である脳科学辞典を主催し、学術集会に連動して市民公開講座を開催するなど、社会へのアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでいま



# 



●1925年設立

- ●会員数:8,200名 (2018年6月1日現在) ●〒113-0033
  - 東京都文京区本郷5-25-16 石川ビル3階
- ●Tel: 03-3815-1913 ●Fax: 03-3815-1934
- 会長: 山本 雅之

  OE-mail: jbs-ho@.jbsoc.or.jp

  (2018年6月1日現在)

  OURL: http://www.jbsoc.or.jp/

日本生化学会は90年以上の長い歴史を持つ組織です。生命現象を分子レベルで解明することを目指す生化学に関連する研究、教育、普及、行政活動を幅広く支援しています。学会全体の年大会は、会員の発表と相互交流の場となっています。各地域の会員で構成される8つの支部も、それぞれが活発な活動を行っています。アジア・オセアニア生化学分子生物学者連合FAOBMBの日本窓口も務めています。和文誌「生化学」を年6回、英文誌「Journal of Biochemistry」を年12回発行し



# 一般社団法人 **日本生態学会**



●1953年設立

- ●会員数:3,930名(2018年5月14日現在)
- ■〒603-8148
- 京都市北区小山西花池町1-8 ●Tel/Fax: 075-384-0250
- ●E-mail: office@mail.esj.ne.jp
- •URL: http://www.esj.ne.jp/

会長:占部城太郎 (2018年6月1日現在)

生態学の進歩と普及を図ることを目的として、日本生態学会は、生態学およびその関連分野に関わる研究を推進するため、研究者を始め関連する職業や学生の方々を会員として、1953年に設立されました。近年は、自然保護や生態系管理に関する提言のほか、英文誌の充実、学会大会での英語発表の推進や学位取得者のキャリア支援などにも力を入れて活動を行っています。また、生物多様性や気候変動などの問題を通じて、当会と社会への関わりの幅をこれまで以上に広げています。



# --般社団法人 **日本生物教育学会**



●1955年設立

- ●会員数:約800名 (2018年6月1日現在)
- **●** 〒113-0033
  - 東京都文京区本郷2-26-11 浜田ビル6階
- 中西印刷株式会社東京営業部内 ●Tel: 03-3816-0738
- 会長: 渥美 茂明 ●Fax: 03-3816-0766
- (2018年6月1日現在) ●E-mail:sbsej@nacos.com ●URL:http://sbsej.jp/

日本生物教育学会は、生物教育に関わる学術的研究および実践的研究の振興を目的として活動しています。会員の研究活動の交流の場として、会誌『生物教育』を刊行し、全国大会を毎年開催しています。大学入試センター試験問題検討委員会は試験問題を分析検討し、改善を提言しています。国際交流委員会を通じてアジア生物学教育協議会(AABE)に協力しています。また、日本生物学オリンピック運営に参画しています。



ています。

#### --般社団法人 **日本生物物理学会**



- ●1960年設立
- ●会員数:約3,300名
- 〒602-8048
- 京都府京都市上京区下立売通小川東入る
- ●Tel: 075-415-3661
- •Fax: 075-415-3662
- 会長: 神取 秀樹 ●E-mail: bpsjp@biophys.jp
- 会長・伊取 秀樹 ●L-mail・bpsjpebiophys.jp (2018年6月1日現在) ●URL:http://www.biophys.jp/

本学会は、"物理的科学の方法一般と生物的科学との融合による生命現象の基本的理解"を目的として設立された。この目的を達成するために、学術集会(年会)を年1回開催するとともに、学会誌"生物物理"およびOn-line journal "Biophysics and Physicobiology"を発行している。若手研究者の育成のため、若手奨励賞による顕彰、海外派遣の支援等を行っている。また、アジア生物物理学連合に協力し、アジアの生物物理振興にも貢献している。



# 一般社団法人 **日本生理学会**



●1922年設立

- ●会員数: 2,836名 (2018年1月現在)
- ●〒160-0016
  - 東京都新宿区信濃町 煉瓦館5階(一財)国際医学情報センター内
- ●Tel: 03-5361-7277
- Fax: 03-5361-7091
- 理事長: 丸中 良典 ●E-mail: psj@imic.or.jp
- (2018年6月1日現在) ・ URL: http://physiology.jp/ (日本語版) http://int.physiology.jp/ (英語版)

日本生理学会は生命現象の仕組みを分子から個体までのあらゆるレベルで明らかにするための研究を進めている。これらの研究成果は、日本生理学会大会、各地で開催される地方学術集会、J Physiol Sci(英文学術雑誌)、日本生理学雑誌(和文学術雑誌)において発表されている。2019年3月には神戸国際会議場にて、第9回アジア・オセアニア生理学会連合2019年大会を日本生理学会が主催し、アジア・オセアニアから多くの研究者が参加し、生理学の更なる発展に大きく寄与することが期待されている。



# --般社団法人 **日本蛋白質科学会**



●2001年設立

- ●会員数: 1,450名 (2018年6月現在)
- 〒562-8686
- 大阪府箕面市稲4-1-2 ●Tel: 072-729-4125
- •Fax: 072-729-4165
- ●E-mail: jimu@pssj.jp
- 会長: 三木 邦夫 ●URL: http://www.pssj.jp/

(2018年6月27日現在)

日本蛋白質科学会は2001年に設立され、広く蛋白質に関する科学の研究を推進し、わが国における学術の発展に寄与することを目的としています。年に1回の年会の開催、学術集会・講演会の開催、電子メールによるニュースレターの発行、蛋白質科学会アーカイブによるオンラインの情報発信、アジア環太平洋地域における蛋白質科学の国際連携などの活動を行っています。蛋白質科学の研究や教育に関わる次世代の人材育成にも力を入れています。



# 公益社団法人 **日本動物学会**



●1878年設立

- ●会員数:2,215名(2018年6月1日現在)
- ●〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-2
- 本郷MTビル4階 ●Tel:03-3814-5461
- Fax: 03-3814-5461 ● Fax: 03-3814-6216
- 会長: 岡 良隆 ●E-mail: zsj-society@zoology.or.jp

  (2018年6月1日現在) ●URL: http://www.zoology.or.jp/

動物科学研究の発展と普及を目的とし、学術集会を年1回開催、全国7支部における支部会、一般向け講演会開催も活発に行っている。Zoological Science、また2015年よりOA誌Zoological Lettersを刊行。動物学会賞や女性研究者奨励OM賞など多彩な賞を有している。支部大会を含めた、大会における高校生ポスター発表は、すでに20年近い歴史を持っている。またZooDiversityWebを構築。本会が目指す「多様性研究」の一助となるよう全世界の動物学者に利用を呼び掛けている。http://zdw.zoology.or.jp/平成24年7月公益社団化、平成25年9月税額控除団体として認定。



# 公益社団法人 日本農芸化学会

●1924年設立



- ●会員数:10,653名(2018年2月末日現在) ■ 〒113-0032
- 東京都文京区弥牛2-4-16 学会センタービル内
- ●Tel:03-3811-8789 Fax: 03-3815-1920
- 会長: 佐藤隆一郎 ●E-mail: shomu@jsbba.or.jp (2018年6月1日現在) ●URL: http://www.jsbba.or.jp/

"農芸化学"は、生命現象を化学的に解析し、その有 用機能を農業生産、加工品生産などに応用展開し、 社会還元を目指す日本で独自に発展した研究・教 育分野です。日本農芸化学会は、この分野の進歩を 通じて科学・技術・文化の発展に寄与することで人 類の福祉の向上に資することを目的に1924年に設 立されました。現在、創立100周年に向けて、「生命」 「食」「環境」の3つをキーワードとして、さらなる 発展を期して活動を強化しています。



# 日本発生生物学会



●1968年設立

- ●会員数:約1,160名 (2018年6月現在) ■ 〒650-0047
- 神戸市中央区港島南町2-2-3 理化学研究所 生命機能科学研究センター内
- Tel: 078-306-3072 ●Fax: 078-306-3072
- 会長: 上野 直人 ●E-mail: jsdbadmin@jsdb.jp (2018年6月1日現在) ●URL: http://www.jsdb.jp/

本学会は発生生物学の進歩と普及に努めることを 目的として設立されました。国際誌Development

Growth & Differentiationを刊行し、また年1回の 大会を開催しています。さらに、国際発生生物学会 の構成学会としての活動に加え、年会の英語化、ア ジア・環太平洋ネットワーク (APDBN) 形成、外国 の発生生物学会との合同ミーティング開催、およ び若手研究者の海外派遣支援プログラムなどに よって国際化を進めています。



# 日本比較生理生化学会



●1978年設立

- ●会員数:396名 (2018年5月18日現在) ■ 〒657-8501
- ●兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 袖戸大学大学院理学研究科生物学専攻 生体分子機構講座 分子生理教育研究分野内
- Tel: 078-803-5718 会長: 尾崎まみこ ●Fax: 078-803-5770
- (2018年6月1日現在) ●E-mail: office@jscpb.org

  - URL: http://jscpb.org/

本学会は、広範な生命現象の理解を目指し、比較生理生化学とこれに 関連する学術研究を振興して参りました。地球上に共存する多様な生 物が進化の過程で獲得してきた、環境に巧みに適応するしくみを、「比 較」の立場から明らかにすることを目的としています。年1回の全国 大会、合同シンポジウムなどを開催し、年4回、学術雑誌「比較生理生 化学」を刊行しています。高い研究水準を保ちつつもまた、広く社会に 貢献できる学会を念頭に、出版事業、教育活動を積極的に推進し、学会 ホームページ上では、今日的なトピックスを平易に解説した「動物の 生きるしくみ事典」や本学会員が用いている研究材料の紹介なども行 い、この分野の魅力を知ってもらう取り組みを重ねています。



# 日本比較内分泌学会



会長: 高橋 明義 ●Fax: 042-778-5010

- ●1975年設立
- ●会員数:約420人
- 〒 252-0373
- 神奈川県相模原市南区北里1-15-1 北里大学海洋生命科学部魚類分子内分泌学研究室内 日本比較内分泌学会事務局
- Tel: 042-778-9144
- (2018年6月1日現在) ●E-mail: mizusawa@kitasato-u.ac.jp
  - •URL: http://www.jsce1975.jp

"日比内"は理学、農学、医学、薬学、化学など多様な 分野の研究者が集い、内分泌現象を進化の視点から追 及しています。毎年大会とシンポジウムを開催しつつこ れまでに4回、国際学会を主催してきました。学会誌「比 較内分泌学」を年3回刊行しているほか、論文発表の場 としてGeneral and Comparative Endocrinology誌 (Elsevier) と提携しています。また教育と社会貢献の 一環としてホルモンの分子生物学シリーズ、ホルモンか ら見た生命現象と進化シリーズやHandbook of Hormones等、多数の書籍を出版しています。



# 日本微生物生態学会



●1985年設立

●会員数:約1,000名 ■ 〒 305-8566

茨城県つくば市東1-1-1 中央第6-10 産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門 生物資源情報基盤研究グループ 内 日本微生物生態学会事務局

●Tel/Fax: 029-861-6591

(2018年6月1日現在) OURL: http://www.microbial-ecology.jp/

微生物生態学は環境微生物学のほか、微生物生理 学、微生物系統進化学、微生物ゲノム科学、公衆衛 生学、食品微生物学、環境バイオテクノロジーなど を網羅し、地球システム全体をその研究対象とす る総合的学問である。微生物生態学会はそれらを 包括する学会として設立された。学術集会を年1 回開催するほか、日本土壌微生物学会、台湾微生物 生態学会ならびに植物微生物研究会との共同編集 により学術誌Microbes and Environments (IF=2.909)を年4回刊行する。



# 特定非営利活動法人 日本分子牛物学会

●1978年設立

■ 〒102-0072

●会員数:約12,700名(2018年5月現在)

東京都千代田区飯田橋 2-11-5

●URL: http://www.mbsj.jp/



(2018年6月1日現在)

人材開発ビル4階

●Tel: 03-3556-9600

●Fax: 03-3556-9611 E-mail: info@mbsj.jp 理事長: 杉本亜砂子

分子生物学は、生命現象を分子レベルで解明する

ことを目指して今日まで発展してきました。本学 会は学問の新しい流れに大胆且つ柔軟に取り組み、 形式より実質を重んずる気風を特徴に活動してい ます。分子生物学に関する研究・教育の推進、現代 生物学の発展に寄与することを目的として、学術 年会を年1回開催し、学会誌Genes to Cellsを年12 回刊行しています。高校への出前授業の仲介や高 校生による年会での発表会等を通じて、次世代教 育にも積極的に取り組んでいます。



# 日本分類学会連合



●2002年設立

- ●会員数:加盟学会25学会(2018年6月現在) ■ 〒305-0005
- 茨城県つくば市天久保4-1-1 国立科学博物館植物研究部
- Tel: 029-853-8973 •fax: 029-853-8401
- 代表: 細矢 剛 ●E-mail: hosoya@kahaku.go.jp
- (2018年6月1日現在) OURL: http://www.ujssb.org/

本連合は日本の生物分類学に関わる25学会の連合 組織であり、分類学に関わる研究教育の発展・普及 を目指して設立されました。ニュースレターを年 2回発行し、毎年1月初旬に分類学に関連するシ ンポジウムを国立科学博物館で開催しています。 最近、大学や博物館の分類学的標本の維持が難し くなってきた世相に大変な危機感を持っています。 標本から得られる情報の重要性をアピールする活 動が必要だと考えています。



# 特定非営利活動法人 日本免疫学会



●1970年設立

- ●会員数:4071名(2018年5月14日現在)
- 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-4-2
- KUMAKIL'IL2F ●Tel: 03-5809-2019
- Fax: 03-5809-2089
- 理事長: 坂□ 志文 ●E-mail: info@meneki.or.jp (2018年6月1日現在) OURL: http://www.jsi-men-eki.org/

日本免疫学会は、生体防御と生命恒常性を司る免 疫〈学〉の研究を発展させ、より広く世界に広める ことを目指しています。年1回の学術集会の開催、 日本免疫学会賞などの顕彰、学術誌 International Immunology やニュースレターの刊行、によって会 員の交流促進と若手研究者の育成に積極的に取り 組んでいます。さらに、サマースクールや「免疫ふ しぎ未来」などの活動を通して、一般社会に対して も免疫〈学〉の重要性をアピールし、研究への理解 を深めていただく努力をしています。



# 公益社団法人 日本薬理学会



(2018年6月1日現在)

●1927年設立

- ●会員数:4,321名(2017年12月末日現在)
- 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
- ●Tel: 03-3814-4828 ●Fax: 03-3814-4809
- 理事長: 吉岡 充弘 URL: http://www.pharmacol.or.jp/

本会は、薬理学に関する学理及び応用の研究についての 知識の普及、会員相互及び内外の関連学会との連携協力 により、薬理学の進歩を図るため、年会、地方部会(年6 回)、共催シンポジウム、セミナー、及び市民公開講座を開 催し、学術誌Journal of Pharmacological Sciences及 び日本薬理学雑誌を毎月発行している。また江橋節郎賞、 及び若手を対象とする奨励賞等の顕彰を行っている。 2018年7月に日本臨床薬理学会と共催で18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (WCP2018)を国立京都国際会館で開催した。